おおい自然園　自然観察会

冬の生きものさがし

日時　平成２７年１２月１９日（土）午前９時００分～11 時 30 分
場所　おおいゆめの里
講師　一寸木　肇　おおい自然園　園長
参加者　１０人
サポーター６人

今の気温は何度くらい？

今日は、雲がなくとても良い天気です。このような天気のことを快晴というのですね。
ところで、今の気温は何度でしょうか？
子　「3℃」　「5℃」　「8℃」

温度計で確認してみましょう。
正解は８℃でした。　近い人がいましたね。

それでは、地面の表面は何度でしょうか。
今日は、ものの表面を図る温度計を用意しました。これを使って測ってみましょう。
地面に向けて地面の表面の温度を測ってみましょう。
子「０．２℃！」
地面の表面の温度は気温よりもだいぶ低いのですね。

表面の温度が測れる温度計

色々なものの表面温度を測ってみよう

畑を見ると霜が降りています。この霜の表面温度は何度でしょうか。
「マイナス０．８℃！」
氷点下だから氷ができるわけです。

それでは、野菜の葉の表面温度は何度でしょうか。
「６．６℃！」
野菜の葉の表面温度は霜が降りた地面に比べてだいぶ暖かいですね。

双眼鏡で山のてっぺんを見てみよう

今日は本当に良い天気で、周りの山がとてもきれいに見えます。
三角形をした大山のてっぺんを双眼鏡で見てみましょう。

子「何か建物があるみたい。」

大山の頂上には上社（かみやしろ）があります。
大山は、昔から多くの人が参拝に訪れた山として知られています。

冬の農作物

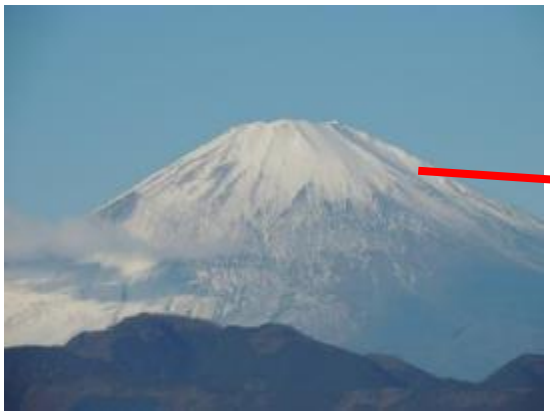
畑にギザギザの形をした葉の野菜が植えられています。今、この野菜を農家の方が収穫していますね。ちょっと話を聞いてみましょう。
「すみません、この野菜はなんですか？」
「大根です。」
大根のように根を食べる野菜のことを根菜類と呼びます。冬は大根がおいしい季節ですね。このほかにも下仁田ネギも収穫されていました。

富士山を双眼鏡で見てみよう

富士山がとてもきれいです。
双眼鏡で見てみましょう。
子「ギザギザの道があるよ」

この道は人が歩くための道でしょうか。

実はこの道は、夏の登山シーズン中、山小屋にブルドーザーで物資を運ぶための道です。



桜の木に黒い虫の群れを発見

桜の木を観察していたら、幹の割れ目の中に、黒っぽい色をした虫が群れで固まっていました。
この虫がいる部分の表面温度を測ってみましょう。
幹の表面温度は１４℃でした。
一方、木の下の地面の表面温度は６．６℃でした。
この虫はヨコヅナサシガメです。寒い冬でも日当たりの良い暖かい場所に集団で固まって冬を越しているのですね。

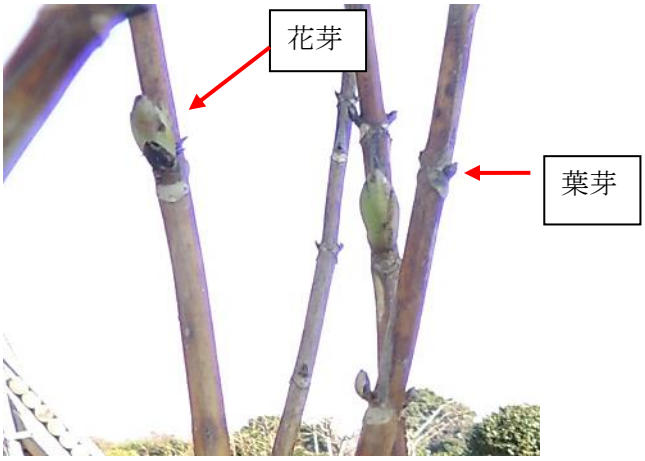
アジサイの冬芽を観察しよう

今度は、アジサイの枝を観察してみましょう。
お猿さんの顔のような模様がありますので、
その模様を探して、スケッチしてください。

とっても上手にかけていますね。
それでは、もう少しじっくりと観察して、もう一度スケッチしてみましょう。

お猿さんの顔の模様が、正面にあって、その上下には両側面に互い違いに顔の模様があることがとてもよくわかります。今度は、サポーターさんもスケッチに挑戦してもらいましょう。

お猿さんの頭の部分にある突起は植物の芽です。
枝には小さな芽のほかに大きな芽もありますね。
大きな芽は花になる芽で、花芽と呼びます。
小さな芽は葉になる芽で、葉芽と呼びます。



どんぐりを拾ったら

地面に落ちているどんぐり（コナラの実）を拾ったら、実から白い突起が出ています。
これは、どんぐりの芽でしょうか？それとも根でしょうか？
答えは、根です。
初めに根が出るのですね。
子　「あ！どんぐりに穴が開いているよ。」

虫（コナラシギゾウムシ）が穴を開けて、実が食べられてもどんぐりは、根を出す力があるのですね。
どんぐりはすごいですね。

風で運ばれる種子のひみつ

みなさんは、風で運ばれる種子を見たことがありますか。ちょうど、この辺りに、たくさん落ちていますので拾ってみましょう。

エンコウカエデの種

この種はエンコウカエデの種子で、種に翼があり、風を利用して遠くに飛んでいきます。
種子をみんなで飛ばしてみましょう。
どんなふうに飛びますか？
くるくる回ってヘリコプターみたいですね。
子　「あ！風に乗って種子が回転しながら上に舞い上がっていくよ」
種は上昇気流をとらえて遠くまで飛んで行けるのです。

どの木から飛んできたかわかりますか？

約５メートル先の木を双眼鏡で見てみると、枝に翼がついた種子があることが見えます。
あそこから飛んできたのですね。

イヌシデの種

この辺りには、もう一種類飛ぶ種子が落ちています。葉がギザギザで、葉の内側に種がついています。風に乗り、くるくる回りながら遠くへ飛んでいきます。
これはイヌシデの種子です。
このほかに、ケヤキの種子も、葉に種子をつけて風を利用してできるだけ遠くへ種を飛ばします。
木の知恵には驚かされますね。

カラスウリの種は何に見える？

みなさんはこの、赤い実を知っていますか？
そうです。カラスウリの実です。
カラスウリの種はどんな形をしているでしょうか。種を観察してみましょう。

黄色い実の部分を取ると、中から黒い種が現れました。
何の形に見えますか？

子　「クロワッサン」「カマキリの顔」

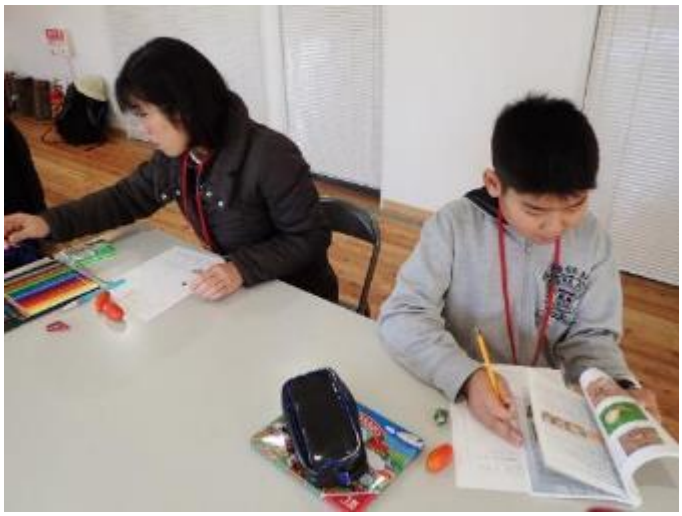
いろいろなものに見えますが、カラスウリの種子は、「打ち出の小槌」に例えられ、縁起がよいものと言われてきました。
持っていると願いが叶うかもしれませんね。

木から貝が現れた

こもれび広場にクヌギの朽木が置いてあります。
この朽木をハンマーで壊して中に何か生きものがいるか観察してみましょう。
子　「貝が出てきた。」
　　「ムカデもいるよ。」
これは、キセルガイという陸生の貝類です。
山で潮干狩りをしているみたいで面白いですね。
朽木の中の表面温度を測ってみると５．２℃でした。地面よりも暖かく、安定しています。
寒い冬でも、生きものたちはいろいろな場所にすんでいるのですね。

キセルガイ

ムカデ



今日あった出来事を新聞の記事にしてみましょう。
寒い冬でも動植物はいろいろ工夫をして生活していることが分かりましたね。

観察会終了後おおい自然園サポーターのみなさんで反省会を行いました。
今回の自然観察会も、サポーターの御協力のおかげで、とても充実した観察会ができました。
自然観察会をとおして、自然に親しみ、守り伝えるため、これからもよろしくお願いします。